



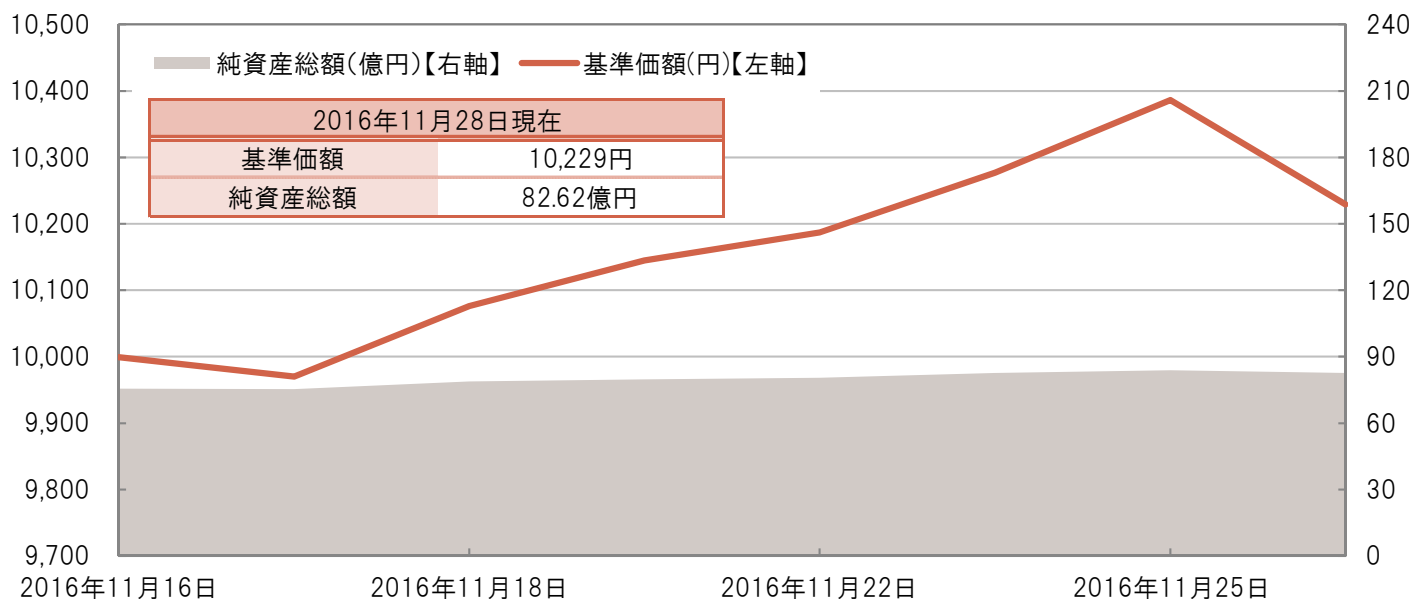
追加型投信 / 海外 / 債券

## 新興国通貨建て世界銀行債券オープン ポートフォリオ構築のお知らせ

ファンド情報提供資料  
データ基準日: 2016年11月28日

平素より、「新興国通貨建て世界銀行債券オープン」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは2016年11月16日の設定日以降、市場環境を勘案しつつ、当初ポートフォリオの構築を行いました。つきましては、2016年11月28日現在のポートフォリオの状況、今後の運用方針等についてご報告申し上げます。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ファンドの基準価額・純資産総額の推移（2016年11月16日～2016年11月28日）



※基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。

### 設定後の市場環境および今後の市場環境見通し・運用方針

現地通貨建ての新興国債券市場では、ファンド設定前である11月上旬の米国大統領選挙の結果を受け、トランプ次期大統領の掲げる政策に対する思惑などが影響し、メキシコの金利などが上昇しました。一方、インドでは同国政府が11月上旬に高額紙幣の廃止を発表したことなどが影響し、インドの金利は低下基調で推移しました。為替市場では、米国の利上げ観測などを背景に一部の新興国通貨が対米ドルで軟調に推移したものの、円安米ドル高が進行したことなどが影響し、新興国通貨はファンド設定日以降で見ると、対円では概ね上昇しました。

足下では米国の政策面などに対する不透明感が懸念されているものの、ファンダメンタルズが改善傾向にある国には資金流入も見込まれており、新興国債券・為替市場は選別色が強まりやすい投資環境になると考えます。なお、米国で次期大統領の政策が奏功し景気拡大ペースが加速する場合には、資源需要の高まりによる資源価格の上昇などを通じて資源輸出国通貨にプラスに働くと見えています。

このような環境下、当ファンドは世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象として運用します。通貨配分や銘柄選択は、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、投資対象のバリュエーションなどを総合的に勘案して行う方針です。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

## 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

## 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドの運用状況

(2016年11月28日時点)

## 資産構成

外国債券	95.94%
現金等	4.06%

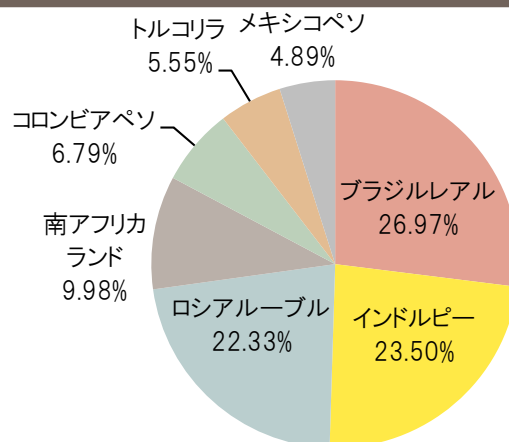
・比率は、純資産総額に対する割合です。

## ポートフォリオ特性

銘柄数	16銘柄
利回り	7.78%
デュレーション	1.13年
クーポン	8.07%
平均残存年数	1.34年

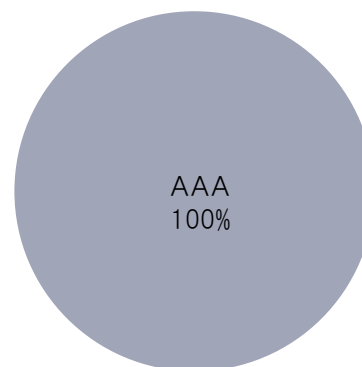
- ・利回りは、計算日時時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・利回りとデュレーションは、現物債券評価額に対する比率で加重平均したものです。
- ・クーポン・平均残存年数は、各債券のクーポン・残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

## 通貨別配分比率



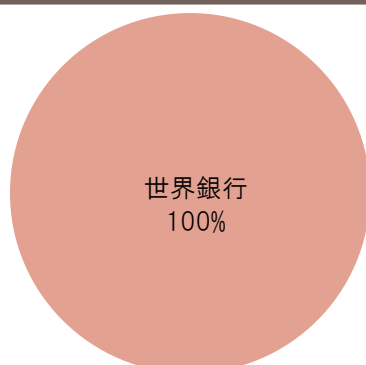
・比率は、現物債券評価額に対する割合です。

## 格付け別配分比率



- ・格付けは原則、S&P、Moody's、Fitchの発行体格付けを採用しています。複数の格付けがある場合は、原則として最も高いものを採用しています。なお、格付け配分比率の表記に際してはS&Pの格付け記号を使用しています。
- ・格付け別配分比率は、基準日時時点の当該ポートフォリオにおける組入有価証券の発行体格付けを比率で表したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付けではありません。
- ・比率は、現物債券評価額に対する割合です。

## 発行体別配分比率



・比率は、現物債券評価額に対する割合です。

## 組入上位10銘柄

(銘柄数:16銘柄)

	発行体	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1	世界銀行	ブラジルレアル	10.000%	2018/01/31	14.54%
2	世界銀行	インドルピー	6.375%	2018/08/07	10.21%
3	世界銀行	ロシアルーブル	10.000%	2019/09/16	9.29%
4	世界銀行	ロシアルーブル	10.300%	2019/03/05	8.38%
5	世界銀行	ブラジルレアル	9.500%	2017/03/02	7.82%
6	世界銀行	南アフリカランド	8.750%	2017/03/01	7.79%
7	世界銀行	コロンビアペソ	4.500%	2017/08/03	6.51%
8	世界銀行	インドルピー	5.750%	2019/10/28	4.72%
9	世界銀行	インドルピー	6.000%	2016/12/20	4.71%
10	世界銀行	メキシコペソ	4.000%	2018/08/16	4.69%

・組入比率は、純資産総額に対する割合です。

- 上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

## 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

### 【ファンドの目的】

世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

### 【ファンドの特色】

**特色1 世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象とします。**

- 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券に投資を行います。  
※当ファンドにおける新興国とはJPモルガンGBI-EMブロードに含まれる国もしくは世界銀行基準で中所得国/低所得国に分類される国とします。
- 債券等への投資にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して行います。
- 投資する債券の残存年数は3年未満とします。
- 当ファンドは為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

**特色2 債券等の運用にあたっては、米国を拠点とするモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。**

- モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの米国拠点です。
- モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントは、世界各国に拠点を持つグローバル総合金融機関であるモルガン・スタンレーの資産運用部門です。

**特色3 原則として年4回の決算時(3月・6月・9月・12月の各6日。(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。**

- 分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。  
(初回決算日は、2017年3月6日です。)

### ■ファンドのしくみ

運用は新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券へ実質的に投資するファミリーファンド方式により運用を行います。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

### 【投資リスク】

基準価額の変動要因：ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

#### 為替変動リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。一般的に新興国の通貨は、為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

#### 価格変動リスク

債券の価格は、市場金利の変動の影響を受けて変動します。一般に市場金利が上がると、債券の価格は下落し、組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。市場金利の変動による債券価格の変動は、一般にその債券の残存期間が長いほど大きくなる傾向があります。

#### 信用リスク

債券の発行体等の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、債券の価格が下落(利回りは上昇)すること、利払いや償還金の支払いが滞ること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

#### 流動性リスク

債券を売買しようとする際に、その債券の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

#### カントリー・リスク

ファンドは、主に新興国通貨建ての債券に投資を行います。新興国通貨建て債券への投資は、対象通貨の国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国通貨建ての債券への投資を行う場合に比べて、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

## 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

## ■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のペーパーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

## ■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 【お申込みメモ】

※三菱UFJモルガン・スタンレー証券でお申込みの場合

購入時

**購入単位**

分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位  
購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。  
再投資される分配金については、1口単位とします。

**購入価額**

購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金時

**換金単位**

1口単位

**換金価額**

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

**換金代金**

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込時

**申込不可日**

次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。  
・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行の休業日

**申込締切時間**

原則として、午後3時までには販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

**換金制限**

ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

**購入・換金申込受付の中止および取消し**

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。

また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入の申込みの受付を中止することがあります。

## 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

その他

## 信託期間

2026年9月4日まで(2016年11月16日設定)

## 繰上償還

受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

## 決算日

毎年3・6・9・12月の6日(休業日の場合は翌営業日)

※初回決算日は2017年3月6日

## 収益分配

年4回の決算時に分配を行います。

収益分配金は税金を差引いた後、決算日の基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。

※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、定期引出契約をお申込みください。

## 課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 【ファンドの費用】

## ◎お客さまが直接的に負担する費用

※三菱UFJモルガン・スタンレー証券でお申込みの場合

購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×3.24%(税抜3.00%)で得た額
換金時	信託財産留保額	ありません。

## ◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、年率1.3392%(税抜年率1.24%)をかけた額
	その他の費用・ 手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## ●販売会社(お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。)

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号  
 加入協会: 日本証券業協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 一般社団法人金融先物取引業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <http://www.am.mufj.jp/><お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034  
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

## ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 【本資料に関するご注意事項】

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。